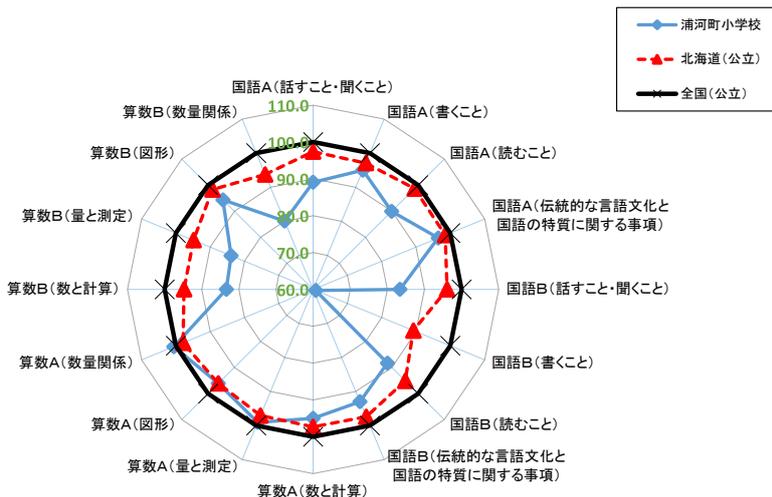


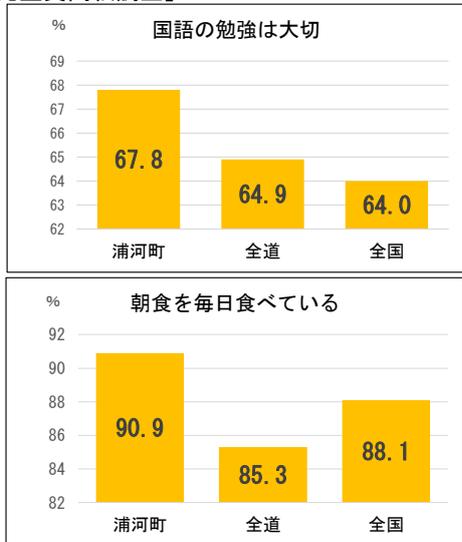
■ 浦河町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:121名)

【教科全体の状況】

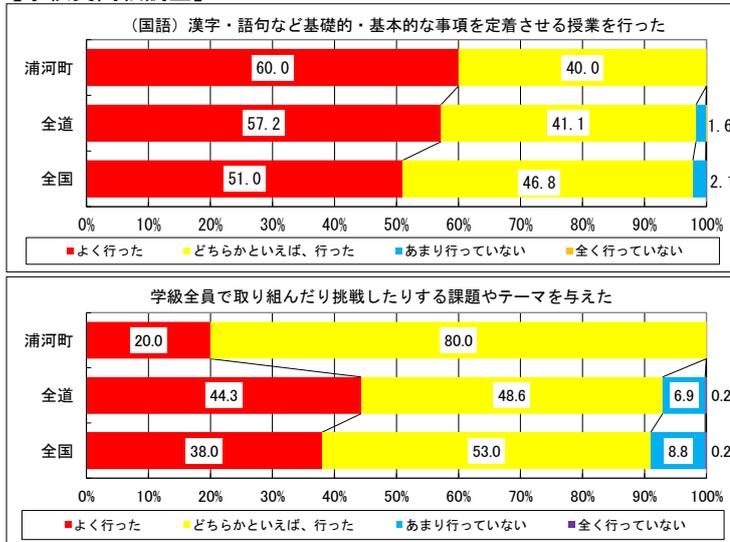
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全道・全国との差が最も小さくなっている。</li> <li>○ 算数A「数量関係」が全国平均を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ってきたことにより、国語の勉強は大切であると考えている子どもが多くなるとともに、国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の力が高まってきていると考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語の勉強は大切と回答した子どもの割合が全道・全国より高い。</li> <li>○ 朝食を毎日食べていると回答した子どもの割合が全道・全国より高い。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語の漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったと回答した学校の割合が全道・全国より高い。</li> <li>○ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたと回答した学校の割合が全道・全国より高い。</li> </ul>	

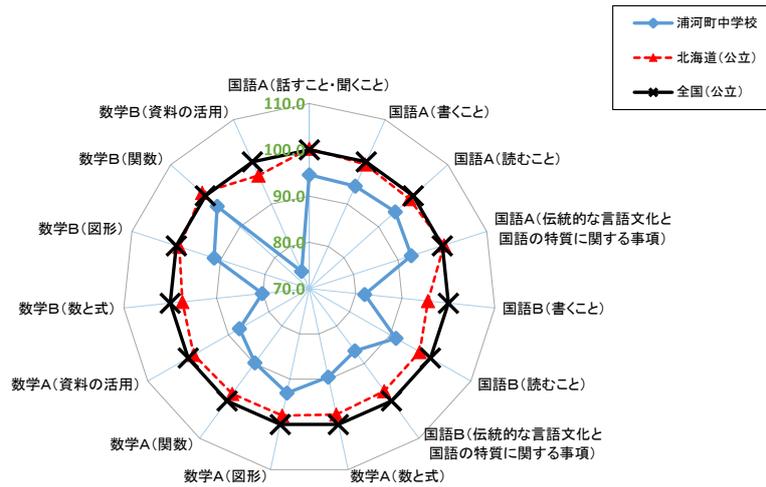
【浦河町の学力向上策】

- ◎ 「家庭学習の手引」の作成と活用
- ◎ 高校生の学習ボランティアによる長期休業中の学習支援
- ◎ 浦河町現職教員研修講座の開催
- ◎ 小中連携による学習指導・学習習慣の育成
- ◎ TT、少人数指導、特別支援員等による学習支援

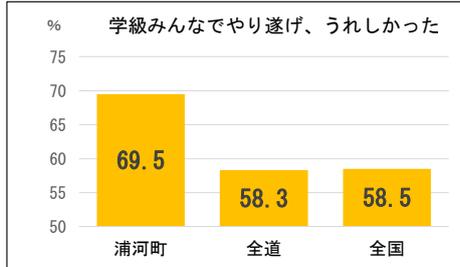
浦河町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:128名)

【教科全体の状況】

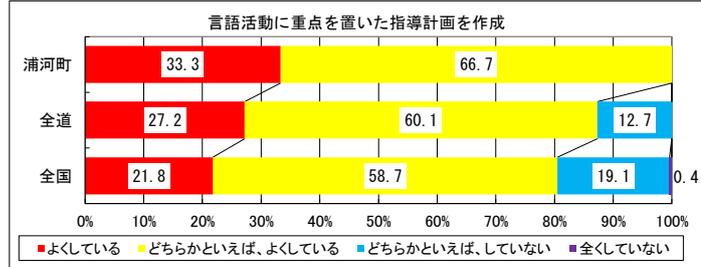
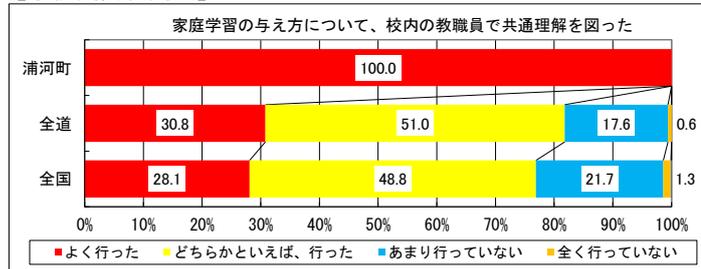
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A「読むこと」の全道・全国との差が最も小さくなっている。</li> <li>○ 数学B「関数」の全道・全国との差が最も小さくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で、家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったことにより、家で学校の授業の予習をしている子どもが多くなるとともに、国語A「読むこと」の力が高まってきていると考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると回答した子どもの割合が全道・全国より高い。</li> <li>○ 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと回答した子どもの割合が全道・全国より高い。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学の指導として、発展的な学習の指導や計算問題などの反復練習を行ったと回答した学校の割合が全道・全国より高い。</li> <li>○ 言語活動に重点を置いた指導計画を作成したと回答した学校の割合が全道・全国より高い。</li> </ul>	

【浦河町の学力向上策】

- ◎ 「家庭学習の手引」の作成と活用
- ◎ 高校生の学習ボランティアによる長期休業中の学習支援
- ◎ 浦河町現職教員研修講座の開催
- ◎ 小中連携による学習指導・学習習慣の育成
- ◎ TT、少人数指導、特別支援員等による学習支援